

もりおか歴史文館だより 6

Rekibunkan News Vol.

(2015.12.10 発行)

- ◆館長だより「ふたば」vol.6
- ◆所蔵資料紹介：県指定文化財「雉子頭雌雄御太刀拵」
- ◆歴史文館スタッフ伝言板 ～その五～
- ◆資料閲覧について
- ◆刊行物について
- ◆インフォメーション



もりおかはんざつしょ

◆盛岡藩雑書(県指定文化財／江戸時代)

盛岡藩家老席の日記で、寛永21(正保元・1644)年から天保11(1840)年までの197年間にわたる盛岡藩領内での出来事が記されている。原則として1年間の出来事が1冊にまとめられているため、通常の冊子と比較して非常に厚い。毎日の日付と天候、当番の家老の名前が記載され、本文の内容は農林業、鉱業、漁業などの産業に関わるものや法制、宗教、年中行事、事件事故の他自然環境についてなど多岐にわたる。

3代藩主(南部氏28代)南部重直が死去し、八戸藩が分立することとなった寛文4(1664)年や、岩手山の大規模な噴火が起こった貞享3(1686)年分を含め、本来記されたはずの14年分が欠本となっているものの、200年近くにわたり盛岡藩領内の出来事を連続的に記述した公的な文書として、盛岡藩の歴史を知る上で欠かすことのできない重要な資料である。

館長だより ふたば vol.6

もりおか歴史文化館(通称:歴文館)^{れきぶんかん}は、2011年に開館してから早いもので4年の月日が流れ、おかげ様で2015年9月27日には入館者数100万人を達成いたしました。100万人目のお客様は当館に何度も足を運んじていただいている市内のリピータの方で、本当に相応しい方が100万人目になってくださったと思っております。また、目標より9ヶ月も早く100万人目のお客様を迎えることができましたのは、多くの皆様に支えていただいたおかげと、改めて感謝申し上げます。

新年度は、市民の皆様の多様なニーズにお応えできるよう「れきぶん講座」がスタート。そして、2015年から始まった「歴文館リーディングカフェ」では、各界からお招きしたゲストの皆様と、これまでに宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』、



石川啄木の『ローマ字日記』、立原道造の『盛岡ノート』、盛岡弁による『もりおか昔話』などを開催し、これからも岩手県・盛岡の魅力をもっと味わっていただける様々な企画を計画しておりますので楽しみに。

来年の7月には、ついに歴文館も開館から5年目を迎えることになり、正念場の時期に入っております。どうぞこれからも皆様からの暖かいご支援をいただければ幸いです。

もりおか歴史文化館館長

畑中美耶子

◆館蔵資料紹介 「雉子頭雌雄御太刀拵」(県指定文化財／江戸時代)



雉子の頭を模った柄を持つ、雌雄一対の太刀拵。雉子の尾羽根を表現した鞘から、「雉子尾雌雄御太刀拵」とも呼ばれる。雉子頭はそれぞれ、雄が銅、雌が金を主体とし、嘴や目、羽毛などの精密な表現からは、作者の高い技術がうかがえる。柄頭に鳥の頭を模った装飾を施した「鳥頭太刀」の一種で、花巻市博物館所蔵の「鷹頭御陳太刀拵」「鳳凰頭御陳太刀拵」と共に、盛岡藩主南部家に代々伝えられてきた。

永享の乱(1438～1439)で戦功を挙げた南部氏14代当主南部義政が、将軍足利義教から拝領したとされる太刀拵が江戸時代初期に火災により焼失したため、残された資料を基に延宝3(1675)年に復元制作したものと伝えられている。

※企画展「盛岡の指定文化財 ～未来へのおくりもの～」(2015年11月21日～2016年1月31日)にて公開中

もりおか歴史文化館は、開館以来ボランティアの皆さまのお力をかり、様々な活動を行っています。今回は2015年9月17日に開催した第3回ボランティア研修旅行(研修先:紫波町・花巻市内の南部氏に関わる史跡及び観光地)について、参加したボランティアの方からのレポートをお届けします。

「ボランティア研修を終えて」

今回初参加となるボランティア研修旅行では、南部氏ゆかりの地 紫波町、花巻市の史跡を訪ねました。

今は桜の名所として知られる斯波氏の居城高水寺城跡。言うまでもなく斯波氏は室町幕府の三管領の筆頭として活躍し、その後も約250年にわたり斯波郡を支配し、岩手南部や雫石に勢力を拡大した一族であります。改めてこの城跡に佇み、斯波氏の統治した時代に思いを巡らし、感慨深いものでした。

また、紫波町には度々の武将の陣营地として、その地名をとどめてきた陣ヶ岡陣営跡が残されています。吾妻鏡には「蜂杜」と記されており、前九年合戦・文治の奥州合戦の陣所として、また南部信直の高水寺城攻略の陣所とされました。さらに九戸合戦の折り、蒲生氏郷が戦勝祈願に立ち寄り、古くは日本武尊や坂上田村麻呂も宿営したとされ、ますます興味深く、今後の研究課題にしたいと思います。

「今日よりは 紫波と名付けん この川の 石にうつ波 紫に似て」

斯波詮直が敗れ、高水寺斯波氏最後の当主が詠んだとされる「紫波」の地名伝承にも、心ひかれるものがあります。

私は当館のボランティアとして活動して、2年目となります。研修先では、諸先輩から多くのことを学びました。盛岡の歴史・文化を愛し、その魅力をより多くの人に伝えたいという「同じ心」を持つ方々との交流は、私の目指す生涯学習であり、大切な時間になっています。

すばらしい環境の中で活動できること、そして学ぶ場を与えていただいていることに心から感謝いたします。



紫波町・城山公園(高水寺城跡)



花巻市博物館見学の様子

◆資料閲覧をご希望のお客様へ

盛岡市中央公民館で収蔵しておりました盛岡藩及び南部家に関わる資料は、2011年7月1日に開館しました「もりおか歴史文化館」へ移管されております。

当館の閲覧スペースに限りがあるため、閲覧(マイクロフィルム含む)には事前のご予約をいただいております。文書資料の閲覧をご希望される際は、事前に諸手続き(閲覧室の予約、特別利用申請書の提出)が必要となります。事前のご連絡がないまま来館された場合、閲覧はできませんのでご注意ください。なお、諸手続きには時間を要するため、閲覧希望日より2週間ほど余裕をもってお申込みください。

資料状態により一部の資料については閲覧、撮影のご要望にそえない場合がございます。また、古書・美術品及びこれに類するものの鑑定や価格調査、系図調査など個人情報に係わる調査依頼は承っておりませんので、その点も重ねてご理解、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

◆刊行物について(購入方法など)

◎刊行物(残部あり)紹介

種別	誌名	頁数	価格	送料
図録	『もりおか歴史文化館常設展示ガイド』	80頁	700円	300円
図録	開館記念特別企画展『南部家の至宝 一名品が伝える盛岡の歴史』	68頁	500円	215円
図録	第5回企画展『あの日あの時の盛岡 一明治・大正・昭和の風景』	32頁	500円	300円
図録	第13回企画展『あの日あの時の盛岡 一馬のいた風景』	23頁	500円	180円
図録	第15回企画展『旅の枝折 一みちのく観光のみちしるべ』	32頁	500円	215円
図録	第17回企画展『盛岡の指定文化財 一未来へのおくりもの』	38頁	700円	215円

※送料はゆうメール料金です

◎刊行物のお求め方法

- ・直接購入のご案内:もりおか歴史文化館のミュージアムショップで販売しています。
- ・郵送でのご購入:①電話(019-681-2100)またはE-mail(info@morireki.jp)で事前にお求めの図書の在庫状況をご確認ください。
- ②希望する図書の冊数、および氏名・送付先・ご連絡先を記入いただき、代金をもりおか歴史文化館宛(盛岡市内丸1番50号)に現金書留でお送りください。郵送料は切手で、図書代金は現金でお願いいたします。
- ③代金到着後、図書を発送いたします。

◆インフォメーション(展示情報)



黒田官兵衛ゆかりの
合子形兜

【会場】
2階 歴史常設展示室

【展示期間】
平成27年11月2日(月)～平成28年1月31日(日)

【原資料展示期間】資料保存のため、原資料の展示は下記の14日間となります
平成27年12月23日(水)～平成28年1月7日(木)
*上記以外の期間は、複製品の展示になります。

画像資料:銀白檀塗合子形兜 当館所蔵
撮 影:いわねスタジオ

※会場は全て2階歴史常設展示室、入場料は下記のご利用案内をご参照ください。

ご利用案内

〈開館時間〉4月～10月 9:00～19:00(2階歴史常設展示室への入場は18:30まで)
11月～3月 9:00～18:00(2階歴史常設展示室への入場は17:30まで)

〈休館日〉毎月第3火曜日(祝・休日の場合は翌日) 12月31日～1月1日

〈入館料〉入館は無料です。

	個人	団体(20人以上)
小・中学生	100円	80円
高校生	200円	160円
一般	300円	240円

2階(歴史常設展示室)のみ有料となり、右記の入場料が必要となります。

- 障がいをお持ちの方やその介護をなさる方(付添いを含めて2人まで)は、無料で入場できます。
- 盛岡市在住で65歳以上の方は、入場料が免除されますので、係員に各種保険証等をご提示ください。
- 盛岡市内の学校に就学している小・中学生の方は、入場料が免除されます。
- 企画展をご覧になる場合は、別途入場料が必要となる場合があります。

- 〈交通のご案内〉
- 電車をご利用の場合:JR盛岡駅下車 徒歩20分
 - バスをご利用の場合:盛岡駅東口から「盛岡バスセンター」行き、または「でんでんむし」に乗車約10分、「県庁・市役所前」下車、徒歩約4分
 - お車をご利用の場合:盛岡IC・盛岡南ICから車で25分
※当館の敷地内に一般車両の駐車スペースはございません。隣接する「盛岡城跡公園地下駐車場」(有料)など近隣の駐車場をご利用ください。



テーマ展「七福神でめでたづくし」

財運や長寿など古来より幸福をもたらす神として信仰されてきた七福神をモチーフにした資料を展示します。
資料:大祝物語(当館蔵)

会期:平成27年12月16日(水)～平成28年2月15日(月)



テーマ展「ひな人形展」

会期:平成28年2月17日(水)～4月18日(月)

時代を超えて愛されてきたひな人形。盛岡城下でも屈指の豪商であった中村家「糸治」ゆかりのひな人形を中心に、花巻人形やくり雛など郷土のひな人形もあわせてご紹介します。



もりおか歴史文化館

〒020-0023 盛岡市内丸1番50号
Tel:019-681-2100 Fax:019-652-5296
http://www.morireki.jp/